

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2004年4～6月期)

第33回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成16年1～3月との比較）
  - （2）前年同期比（平成15年4～6月との比較）
  - （3）来期見通し（平成16年7～9月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	217社
回答率	43.4%
(業種別)	
製造業	80社
建設業	46社
卸売業	22社
小売業	37社
サービス業	32社
合計	217社

## (2) 実施時期

平成16年4～6月期（平成16年7月に実施）

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 // ) - (悪化 // )

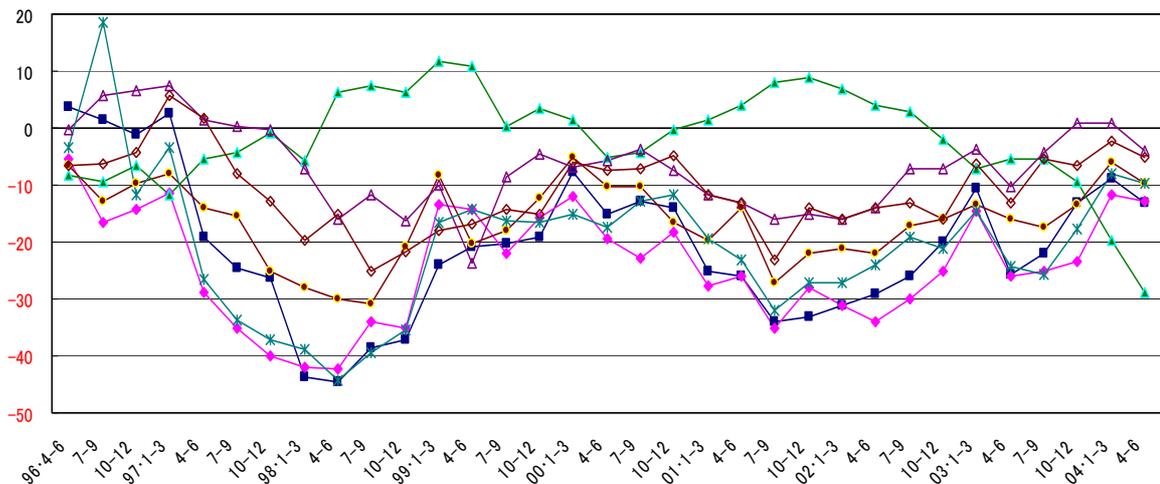
資金繰りD I = (好転 // ) - (悪化 // )

仕入価格D I = (下落 // ) - (上昇 // )

雇用状況D I = (不足 // ) - (過剰 // )

設備投資D I = (拡大 // ) - (減少 // )

業況D I = (好転 // ) - (悪化 // )



前年同期比 (全企業D I の推移)

	10-12	02/1-3	02/4-6	7-9	10-12	03/1-3	4-6	7-9	10-12	04/1-3	4-6
■売上	-32.6	-30.9	-28.5	-26.2	-20.2	-10.7	-25.6	-22.0	-13.1	-8.9	-13.2
◆採算	-28.2	-30.5	-33.8	-29.9	-24.8	-14.7	-26.0	-25.0	-23.4	-11.7	-12.8
●資金繰り	-21.6	-21.3	-21.5	-17.0	-16.3	-13.3	-16.1	-17.4	-13.5	-6.1	-9.6
▲仕入価格	8.6	7.4	4.3	3.0	-2.3	-7.1	-5.4	-5.5	-9.4	-19.7	-28.8
△雇用状況	-15.3	-16.2	-13.6	-7.4	-7.4	-3.6	-10.3	-4.2	0.8	0.9	-4.1
◇設備投資	-14.0	-16.2	-14.2	-12.5	-16.3	-6.2	-13.2	-5.5	-6.6	-2.3	-5.0
*業況	-26.9	-27.2	-23.5	-19.2	-21.3	-14.7	-24.4	-14.8	-17.6	-8.0	-9.6

### 3. 概況

#### 「建設業が足を引っ張り、前回調査より悪化」

##### (1) 今期の特徴

前回調査では大幅に改善した前期比のD Iであったが、再び悪化に転じた。業種別では、プラズマTV等デジタル家電の荷動き活発化や全国植樹祭の恩恵を受けたサービス業が、マイナス値ながらも好転。「年度末需要」の反動で建設業が、「公共工事の減少」の影響をもろに受け一点マイナスに転落し、引き続き消費低迷で厳しい小売業とともに足を引っ張る形となった。

前年同期比においても、オリンピック、植樹祭の恩恵を受けたサービス業に加え、マイナス値ながらも卸売、小売も若干の改善をみせた。ここでも、公共工事削減の建設業が大きく響いている。

##### (2) 来期の見通し

来期の見通しについては、このところ上昇している「仕入価格」が、原油価格の高騰もあり、はっきりと現れてきた。サービス業と中元期で期待を持っている卸売業以外は、依然として低迷が続いている。中でも、建設業が厳しい見方が多い。

##### (3) 経営上の問題点

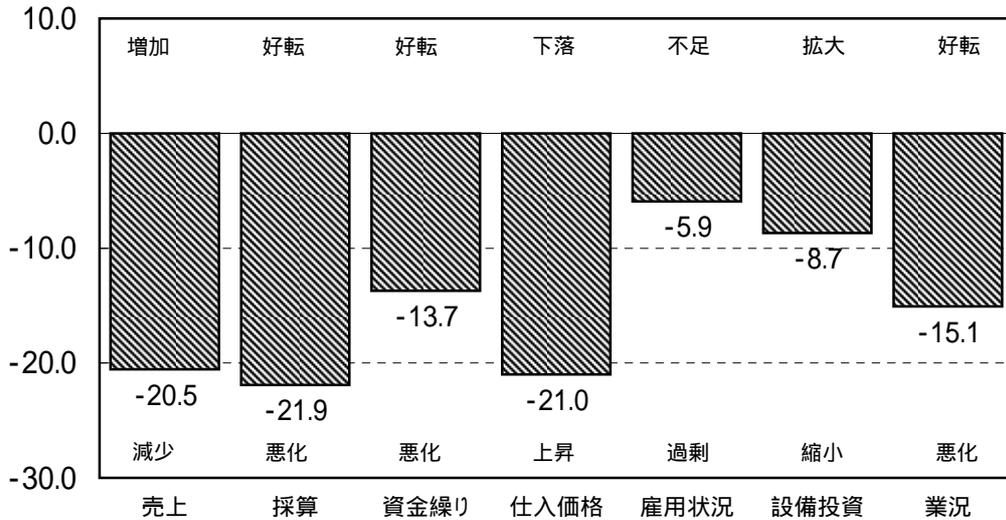
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的1位で、2位が「製品（販売）単価の低下・上昇難」となっており、長引く消費の停滞による景気低迷をあらわしている。

##### (4) 今後の対応策

今回も、1位が「新規市場を開拓したい」、2位が「その他合理化を実施したい」、3位が「人件費を削減したい」となり、上位3項目については前回と変動はなかった。

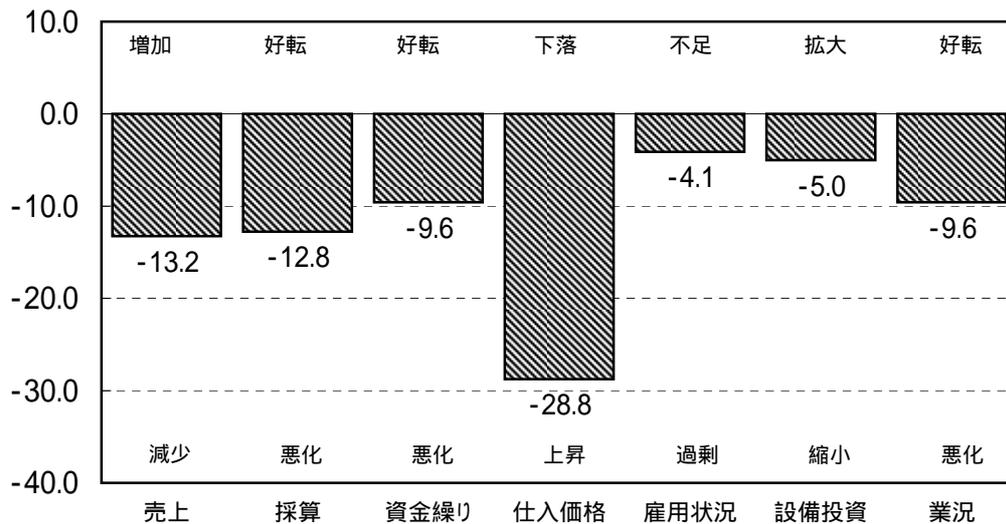
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成16年1～3月比)



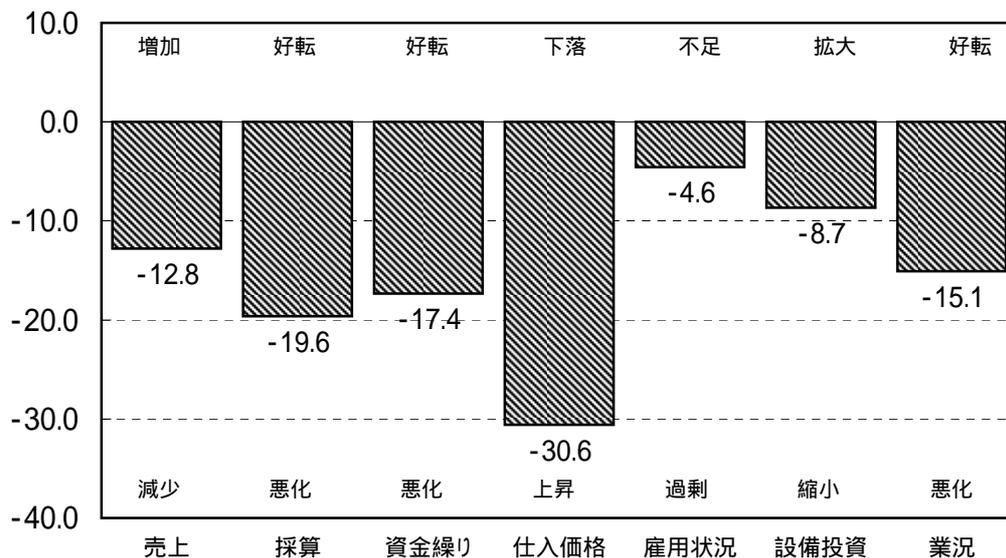
好調な製品の荷動きの活発化、オリンピックや植樹祭の恩恵を受けたサービス業がマイナスながらも好転。公共事業が減少している建設業、消費低迷と競争激化の続く小売業が足を引っ張る形となり、全体としては前回調査より悪化した。

前年同期比(平成15年4～6月比)



マイナスながらも若干の改善をみせた卸売業、小売業に加え、特需のあったサービス業らが前回調査より好転したものの、建設業が大きく足を引っ張り、DI値は悪化した。

来期見通し(平成16年7～9月見通し)

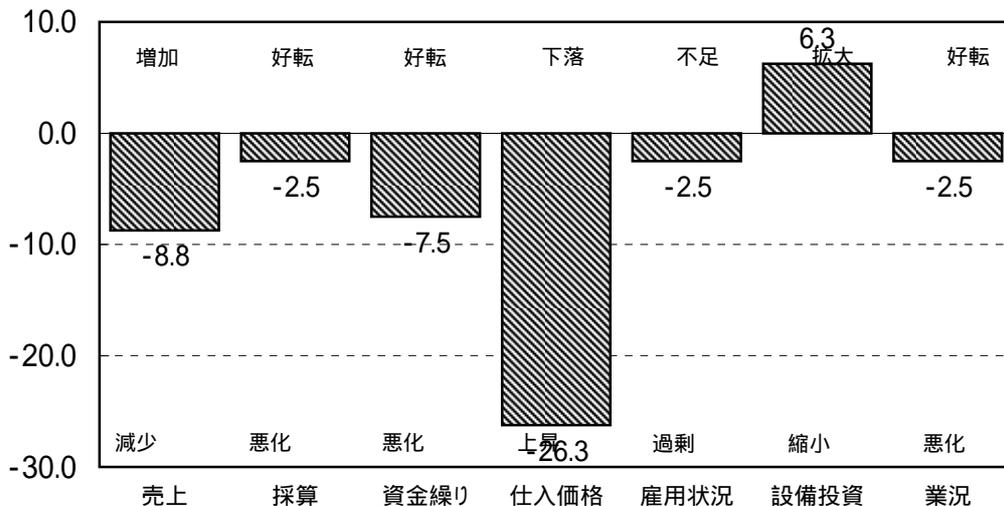


サービス業、中元期に期待を持っている卸売業以外は、総じて「景気回復は感じられない」との声が大きく、DI値は依然として低迷が続いている。また、原油高騰による採算、仕入れの悪化を危ぶむ企業が多い。

## 5. 業種別の景気動向

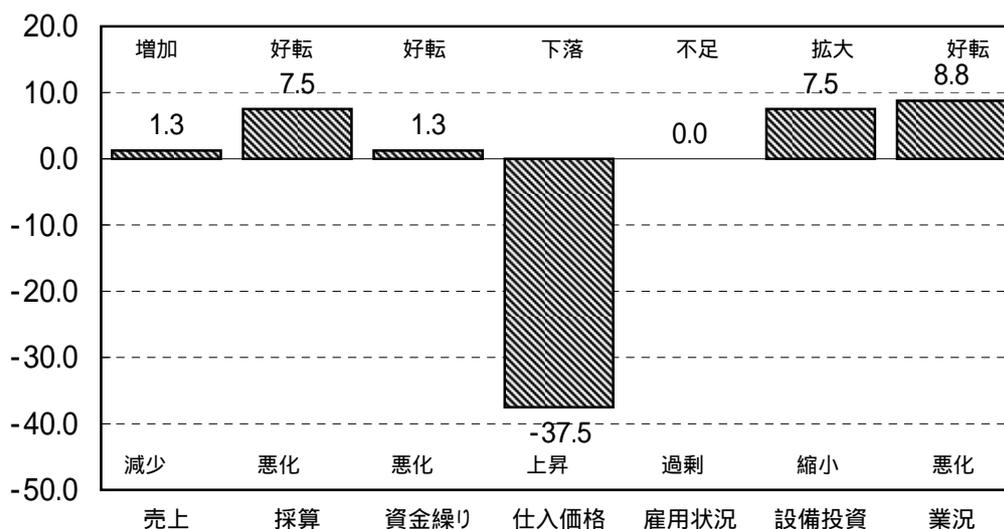
### (1) 製造業

前期比(平成15年1～3月比)



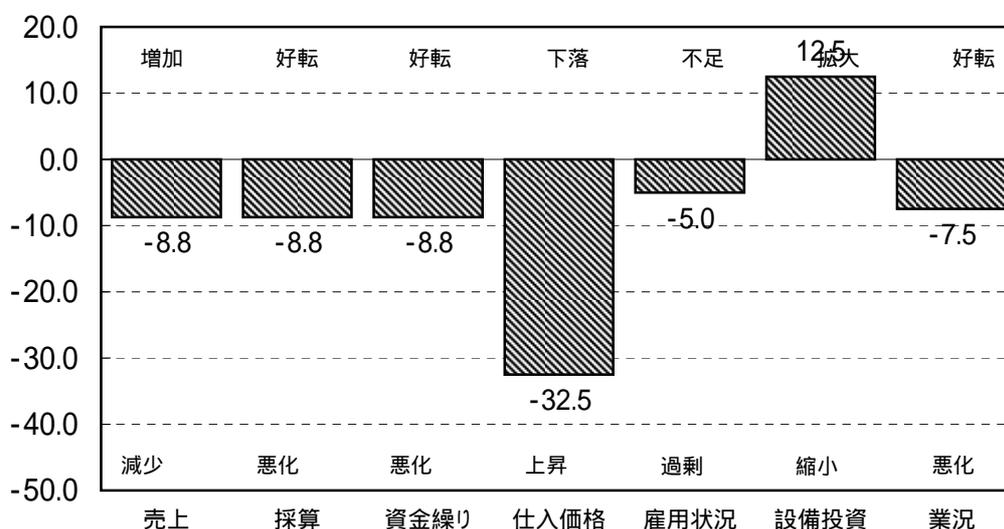
「業況が好転」(鑄造機械加工)、「家電が好調」(化学工業)、「液晶の受注が高い」(半導体)との声もあるが、「パソコン導入による仕事減」(印刷)、「原材料の高騰」、「海外商品との競争」と前回調査より悪化した。

前年同期比(平成15年4～6月比)



「顧客増」(広告)、「猛暑」(清涼飲料水製造)、「県外大型工事の売上増」(鉄工業)とのプラス要因があるものの、「海外製品の乱売」(寝具製造)、「原材料の値上げ」の影響で、前回調査より悪化している。

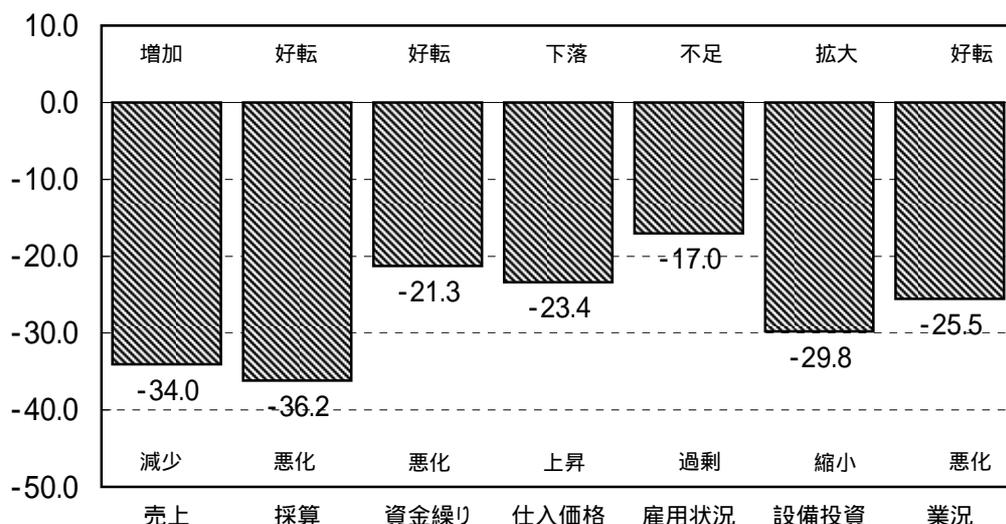
来期見通し(平成16年7～9月見通し)



「海外需要の拡大」(二酸化マンガソ製造)など明るい話もあるが、「大きな変化なし」(印刷)、「下げ止まりから横ばい」(木工所)、「大きな変化は期待できない」(自動車金属部品)などにより、低迷が続く。

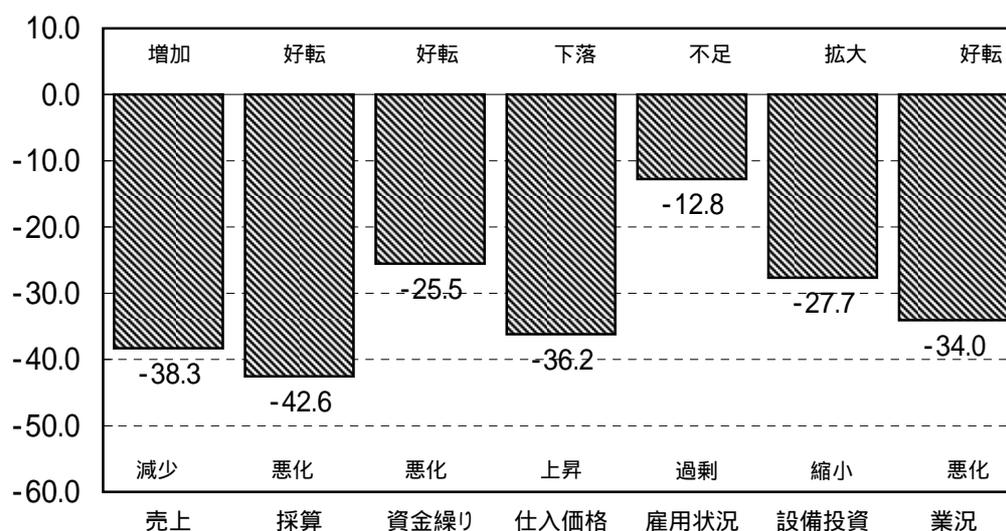
## (2) 建設業

前期比(平成16年1～3月比)



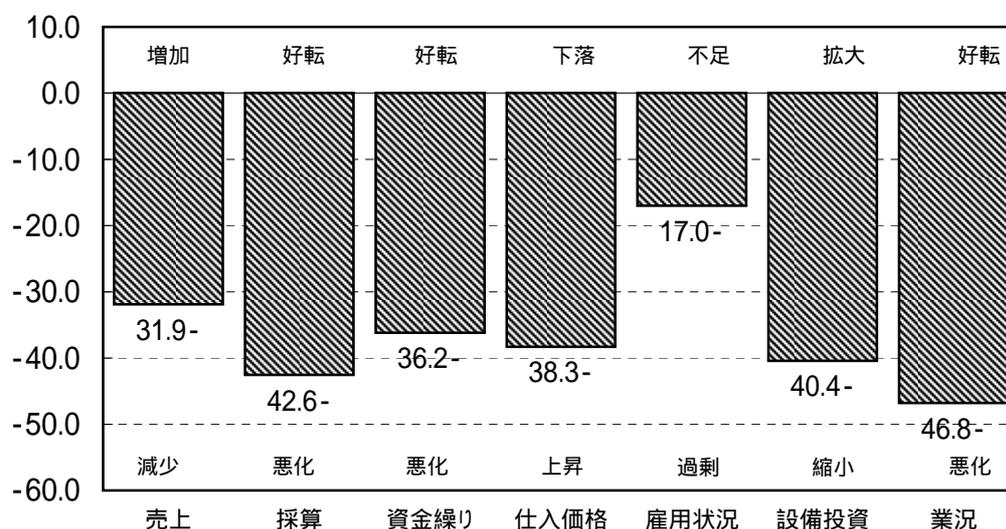
物件があった企業もあるが、「公共工事の減少」は変わらず、特に民間需要の少ない土木工事関係が厳しい。鋼材等材料の値上がりも気になるところ。

前年同期比(平成15年4～6月比)



「公共工事の縮減」、それに伴う「その他工事での競争激化」が、「工事単価の下落」、「採算の悪化」を招いている。さらに、「鋼材価格の急騰」も加わり、全業種中最も悪い数値となった。

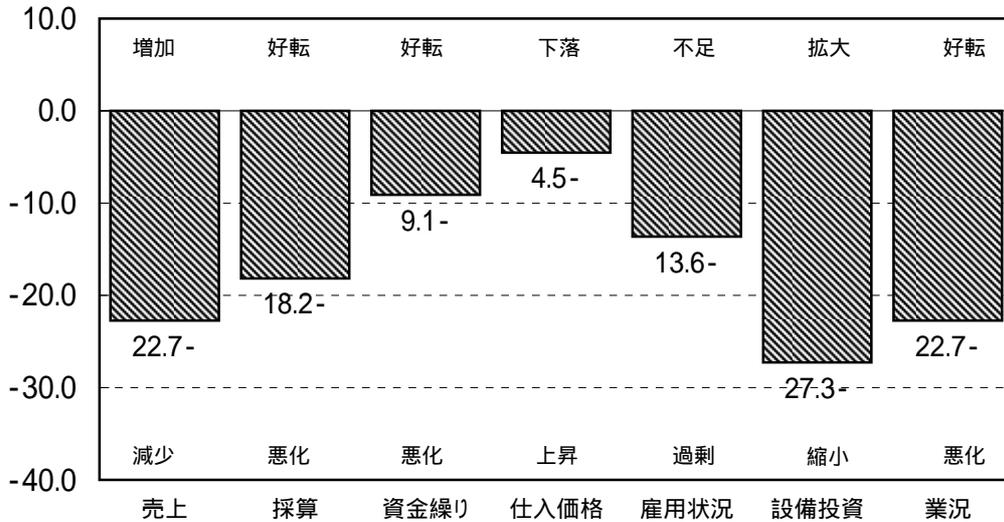
来期見通し(平成16年7～9月見通し)



受注残、受注見込み案件を抱える企業が一部には見受けられるが、「地方や中小零細企業への景気回復は感じられない」との声が多く、公共工事の減少も加わり、全業種中最も悪い数値を示している。

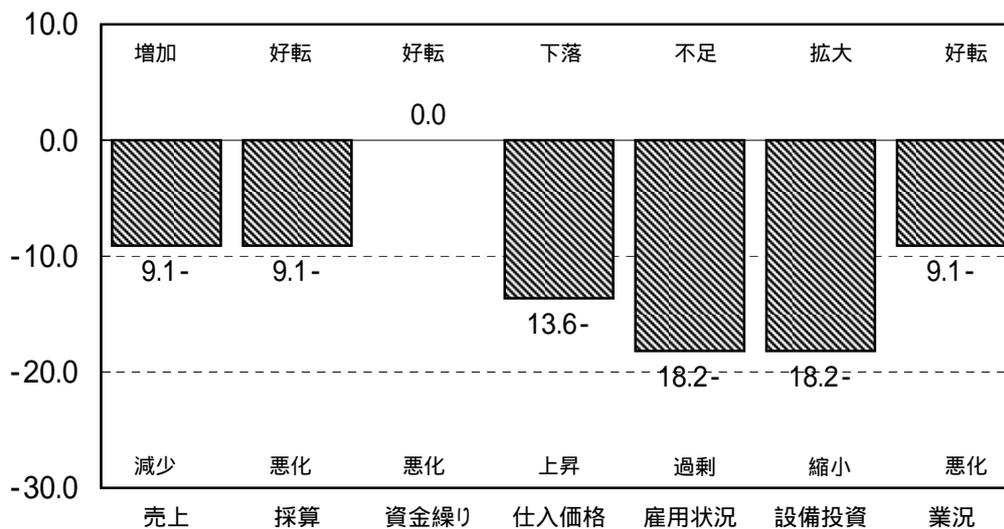
### (3) 卸売業

前期比(平成16年1～3月比)



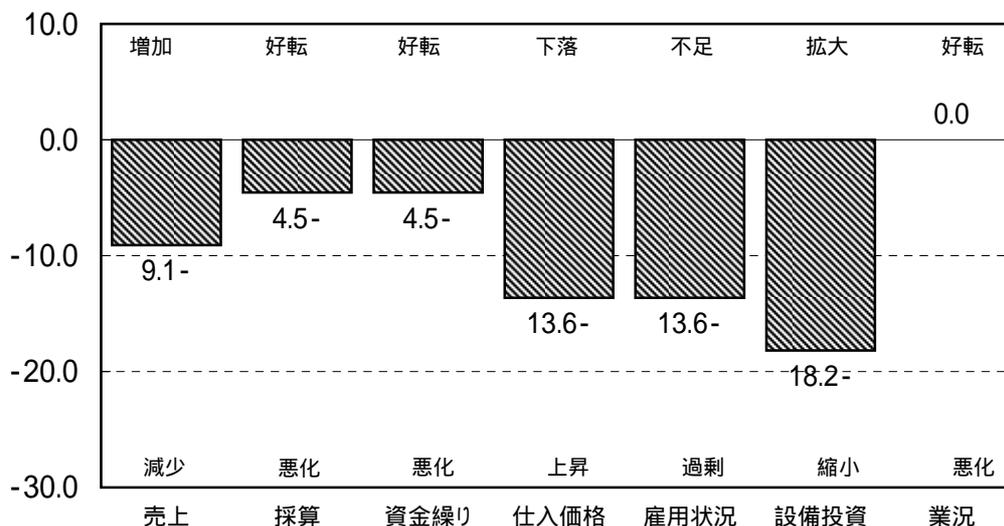
「鳥インフルエンザの影響で減少」(鶏卵卸)、「仕事量減少 競争激化 受注単価下落」、「年度始めのため前期比では悪化」(建築資材卸)と依然としてDI値は低水準で推移している。

前年同期比(平成15年4～6月比)



「公共工事減少」、「競争激化」(建築資材卸)、消費低迷は変わらないが、「悪いながらも少し良くなってきた」(機械工具)、焼酎ブームで値上げ、新規取引増もあり、DI値はマイナスながらも若干の改善をみせた。

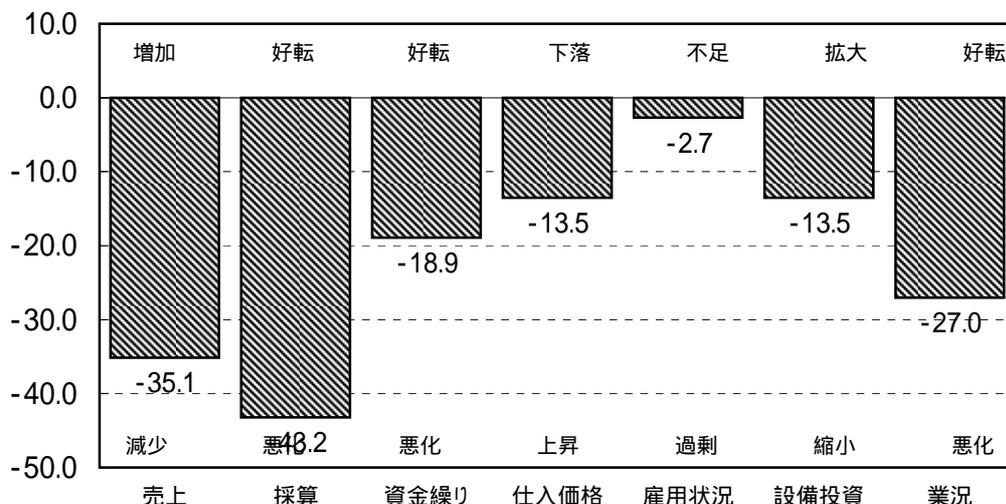
来期見通し(平成16年7～9月見通し)



「需要の低迷」(青物/鉄鋼卸)、「鳥インフルエンザ」廃業 価格急騰 利益減」(鶏卵卸)などの要因があるも、「中元期でギフト売上増」(食品卸)、「何とはなしに良くなっている」(酒類卸)とかな動きが感じられる。

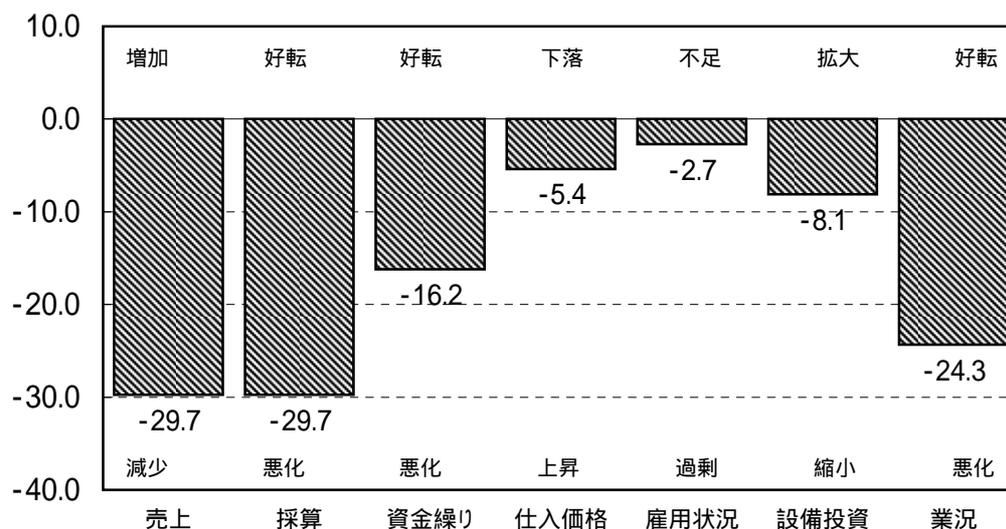
## (4) 小売業

前期比(平成16年1～3月比)



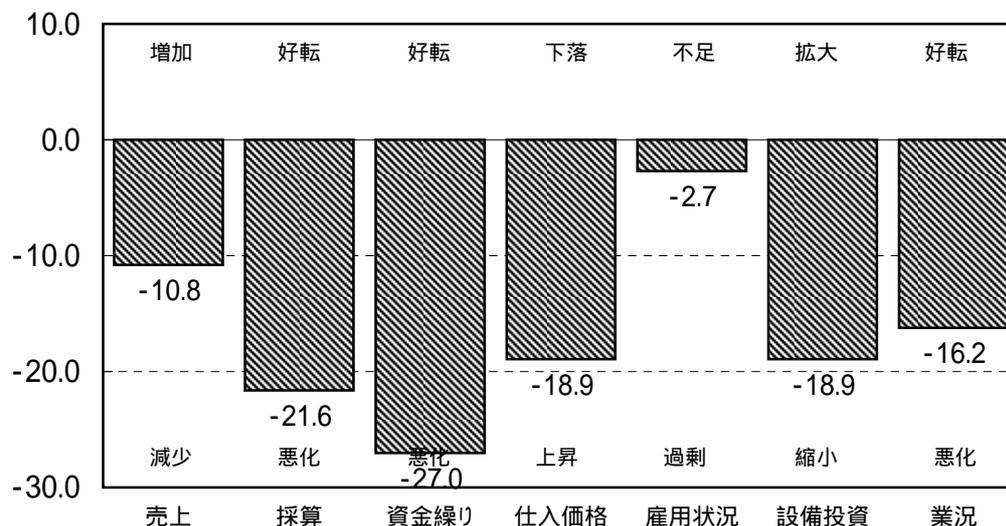
「通信販売増による影響」(文具・事務機)、「酒類免許の自由化」(酒類販売)、「総額表示導入で買い上げ点数減」や「既存の小売店の廃業とCVS、ドラッグストアの進出」で依然として厳しい状況が続く。

前年同期比(平成15年4～6月比)



「本格焼酎の県外出荷増」(酒類小売)や「猛暑でエアコン、冷蔵庫が好調」(家電販売)などで若干持ち直したが、依然として厳しい個人消費に加え、「原油価格の上昇」(燃料販売)で、未だ低水準のD I値で推移している。

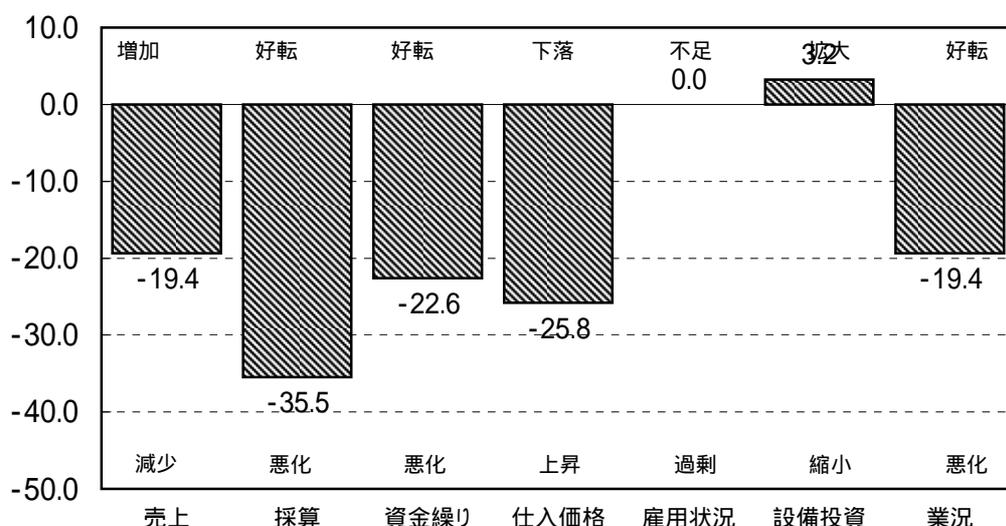
来期見通し(平成16年7～9月見通し)



「売上が期待できない」、「多少の像はあるが、さほど変化なし」、「油断できない」、「現状維持が目標」など、小売業全般的に引き続き低迷を予想する声が多い。

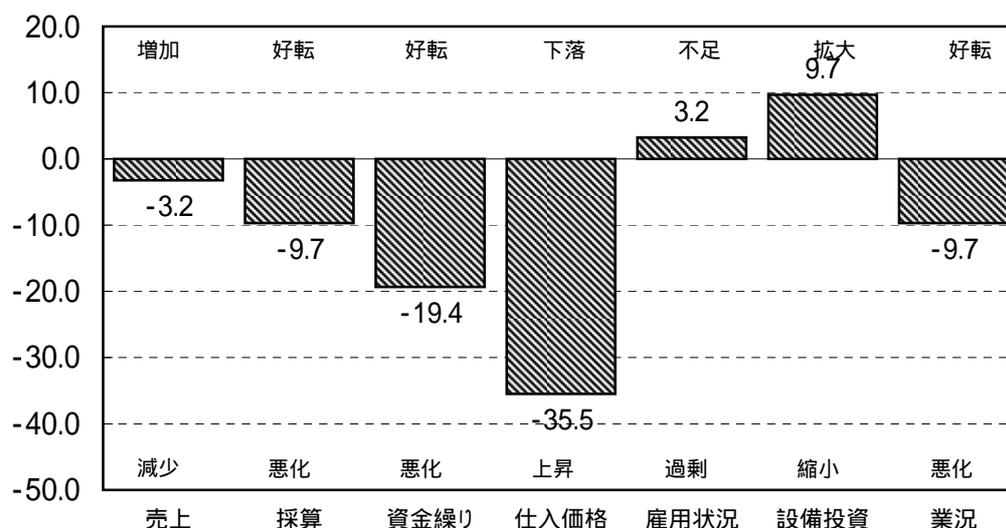
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成16年1～3月比)



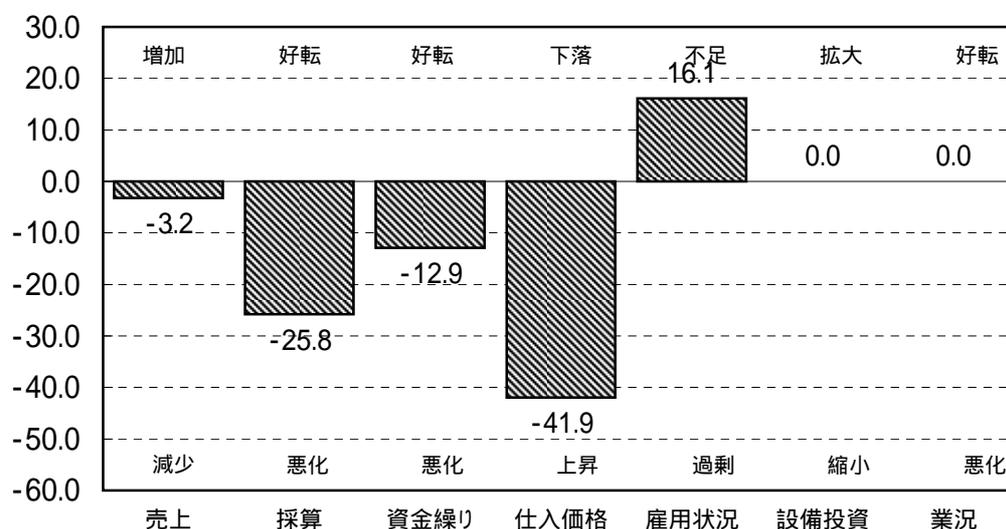
「景気低迷でネットの広告費削減」(広告代理店)、「規制緩和による供給過剰」(タクシー)と厳しいものの、「プラズマTV増産」(運送業)、「リソビック」(放送業)、「全国植樹祭で来店増」(レストラン)もあり前回調査より好転。

前年同期比(平成12年7～9月比)



依然として厳しい声も聞かれるが、「全国植樹祭警備の宿泊」(旅館)、「東京支店の売上増」、「デジタルとオリンピック好況」、「県外レジャー客の出足は伸びている」(レンタカー)等の影響で、大幅に好転。

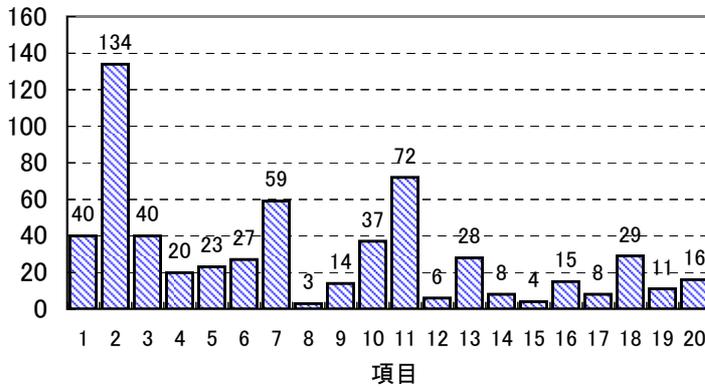
来期見通し(平成16年7～9月見通し)



一部では「夏休みの予約状況がよくない」(宿泊宴会)との声もあるが、「規制緩和で売上増」(広告代理店)等、全般的には好転しているものの、原油価格高騰の影響で、採算、仕入価格の悪化が著しい。

## 6. 経営上の問題点

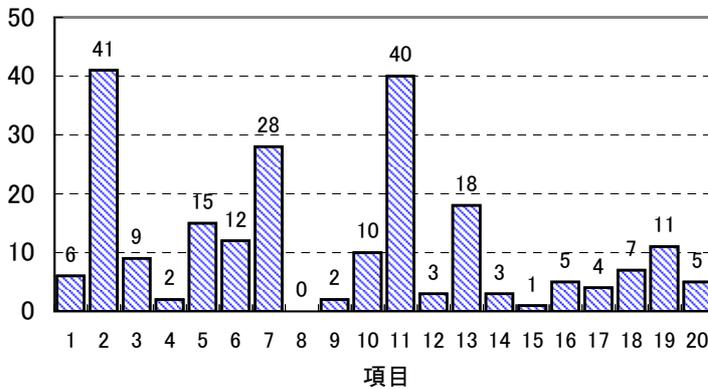
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

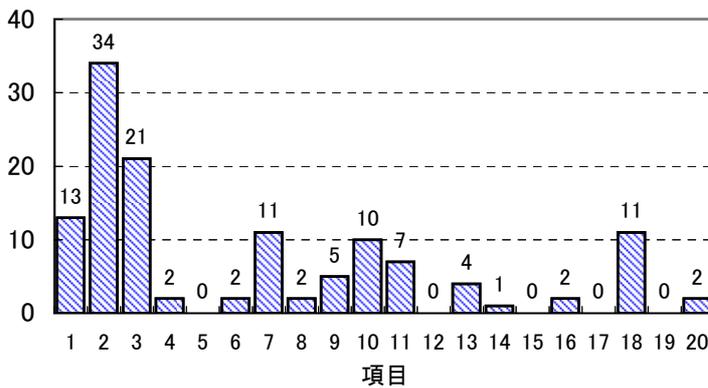
製造業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



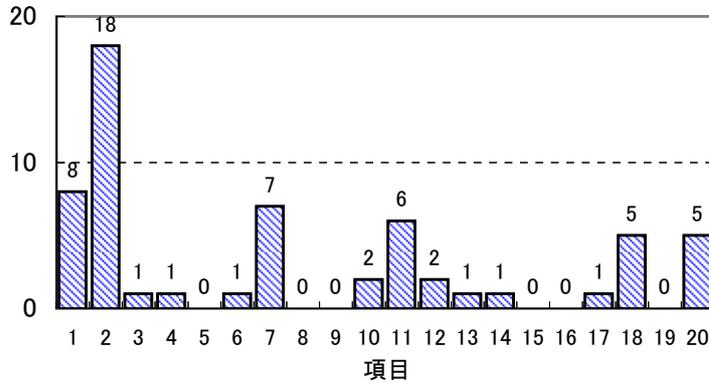
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 取引条件の悪化

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

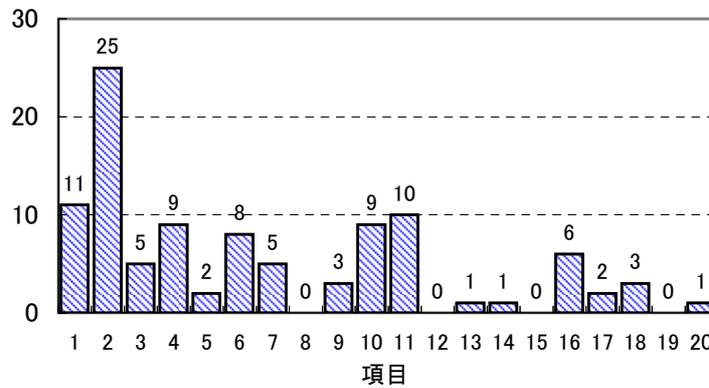
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 取引条件の悪化

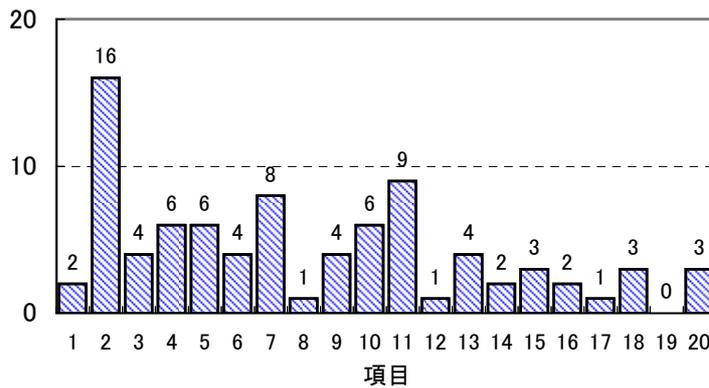
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 人件費の増加

### サービス業



#### 順位

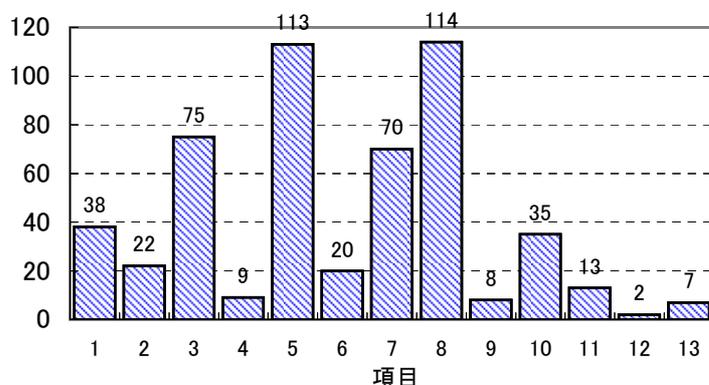
- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 生産設備の不足・老朽化

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

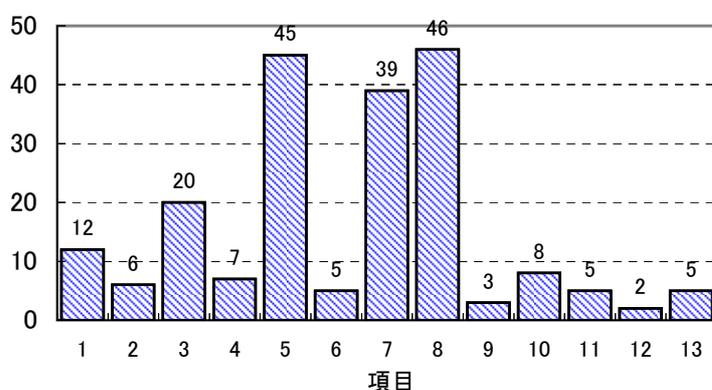
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

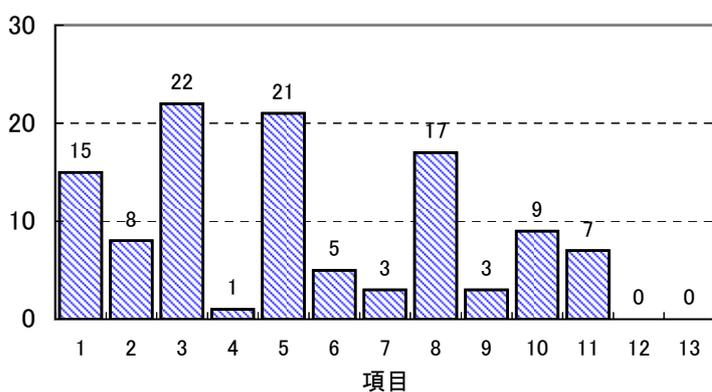
製造業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

建設業



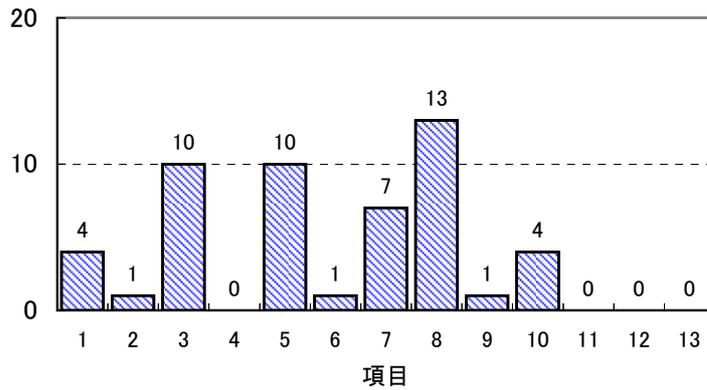
順位

- 1位 人件費を削減したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             |                      |

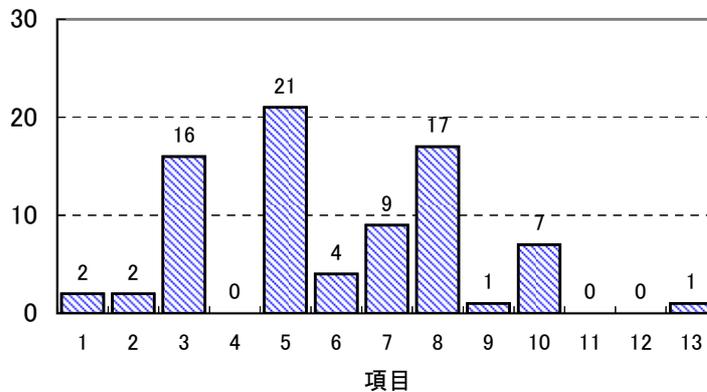
## 卸売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

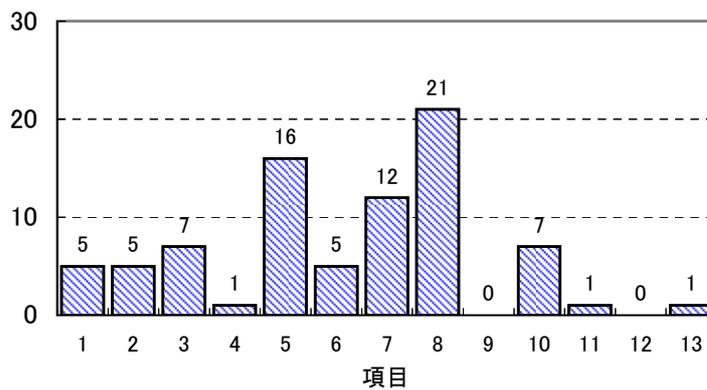
## 小売業



### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

## サービス業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

## 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
サービス業	広告代理業	宮崎	景気浮揚の対策として、雇用問題を十分検討して頂きたい
サービス業	不動産売買・管理	宮崎	金融機関の体制建て直しが急務で、確実にそれは実行されつつある。後は、個々人がバブル崩壊で失った自信を回復し、国をあてにせず今まで来たように努力を積み重ねていく。中小企業の回復なしには、国家経済の立て直しは不可能だから。
サービス業	旅館業	宮崎	宮崎の観光業について長期的な展望に立った計画立案を行政と民間が一体となって検討して行く機関の充実を図っていただきたい。行政指導の面が他県に比べてまだ弱い様に思えます。宮崎の四膳を生かした観光業の育成がこれからの発展のポイントだとなるはずです。
サービス業	タクシー営業	宮崎	規制緩和による競争社会より地域強調社会を望む
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	日銀や政府が発表する短観によると、景気は回復しているようだが、これも一部地域、一部業種によるものではないだろうか？宮崎にいと実感がありません。
サービス業	サービス業	日向	この不況下で、零細、小規模企業は、人件費削減のため従業員をパート、アルバイトに変えて生き残りをはかっている。景気が上向いても、雇用形態は不況時と変わらないと思われる。定職志向の若いアルバイトの人達の定職化に企業も、政策的にも効果的方策はないものか。
サービス業	飲食業	日向	衛生面、品質、価格等のしっかりした政策の上での展開をすれば私共の仕事は景気に左右されない面がある。全ての面で行政の管理は行き過ぎだと思う。自由に規制緩和すべきである。
サービス業	清掃用品レンタル業	高鍋	要望しても回答がない。望んでも意味がない。
サービス業	レストラン	高鍋	農業県として宮崎をアピールし、そこで働く農業従事者の方々が、将来のビジョンが描ける事が大切だと思う。畜産、米、園芸作物等々、JAは何のためにあるのかと、部外者ながら疑問に思うことが多々にあります。農家の方が豊かになって、商工業者にもそれが伝わってくるのでは。JA、又は県の農政にたずさわの方々や交流や、シンポジウムでもあれば、ぜひ参加して、意見を述べたいと思います。
サービス業	ホテル	日南	NHK朝の連続テレビ小説「わかば」の舞台となることで利用増加を期待したい。
製造業	繊維製品製造業	都城	年金法案がすでに可決して、これから厚生年金の負担もアップされると思いますがそれに対し事業主負担も増加する。値上げする前に、社会保険庁等、無駄な支出、厚生年金資金で建てられた施設で採算の悪いところは、徹低して改革をやって頂きたい。
製造業	製材・チップ	都城	国産材杉供給日本一の県として、公共事業における杉材需要増大を計って欲しい
製造業	醤油・味噌製造販売	都城	選挙の時だけいい事言って、行政がともなわない。
製造業	製材業	都城	例年ではあるが、第1四半期の業績が全体の影響を示す割合が多く、その対策が課題である。
製造業	金属製品製造業	宮崎	農林業と商工業をマッチングするような行政指導、政策を發揮してほしい
製造業	印刷業合成樹脂製品製	宮崎	助成金の増加
製造業	木工所	延岡	不況時に生き残り策の一つとして、人員削減後、パート、アルバイトの雇用増加で繁忙期に対応してきたが、景気が良くなってもこの雇用形態は続くと思われる。零細小企業が正規従業員を雇用し、定職志向の若いアルバイトを減らす施策はないものか。
製造業	電機機械器具製造業	延岡	国も県も県北に何もしてくれない現状をしっかりと理解して欲しい。田舎の景気回復は公共投資しかないと思う。
製造業	化学品製造	延岡	新聞、TVを通じて言われる政府経済見通しのようには景気回復感はないのが実情。内需拡大、景気底上げの対策を粘り強く継続して欲しい。

製造業	二酸化マンガン製造販売	日向	海外品との価格競争により、コストダウン、生産性向上が急務となっている。ついでには、地場企業に対する政策、税制面での配慮をお願いしたい。
製造業	自動車金属部品製造	日南	1.国内へ製品を輸送するのに物流コストが問題2.海外(中国)へ輸出するのに日南からの物流コストが問題3.人材教育(リーダー育成)が必要 以上のような項目に対してバックアップをお願いします。
製造業	コンクリート製品	日南	公共工事の減少は続いており、特に県南地域が激減している様に見える。当社は新製品の開発や新規需要の開拓で、何とか売上、利益を維持しているが、業界は悪くなるばかりで良くなる見込みはない。
製造業	金属加工業	日南	税金が高くて少々の黒字だと資金不足になりやすい。
製造業	家具	日南	東南アジア(特に中国)に打ち勝つための戦略を考えないと、企業の発展(存続)はない。いかにあるべきか行政、企業ともに考えるべき。
製造業	各種印刷	小林	市町村合併は経費節減のための合併であった。新市発足の議員定数は30名(小林地区)でスタートすべきである。合併は住民にもそれぞれマイナス面がある事を議員は知るべきである。(国・県の指導が足りない)
建設業	給排水衛生工事	都城	都城地域において建設業の公共工事に対する依存度はかなり高いものがあると思います。事業者が投資を行う工事等においては、メーカー、大手業者等の資本の大きな会社が参入しダンピング状態がよりいっそう激しくなっているように思われます。国が行う地方分権の中で、もう少し地方の零細企業に対するの景気対策を考えて欲しいと思います。
建設業	管工事	都城	民間から見ると、無駄な税金の使い方をしている。複雑なシステムの中を全て把握する事はできないので、無駄遣いの金額は相当なものと推測できる。増税に頼らなくても、うまく運用していけば、赤字を減らす事も出来ると考えられる。資金計画を行うのは民も官も同じなのだが、自ら苦勞して上げる売上げと、努力せずして集まる税金とでは、お金の考え方が最初から違っていると考えられる。官に望む事は、安易に増税に踏み切る事より、税金の無駄遣いを徹底的に無くす方向に目を向けて頂きたい。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	景気回復、雇用問題があまり叫ばれなくなった。景気が好くなつても失業者が減ったわけでもない。それなのに、政府は、郵政民営化が国策であるかのように押し進める。これで景気回復や失業問題が改善されるのだろうか。国民が望んでいることなのだろうか疑問に思える。もっと国民に目を向けて欲しい
建設業	建設業	宮崎	地域格差の解消、特にインフラで萎靡の遅れている地方に公共工事の前倒しを実施、景気の起爆剤となり、士気を高めてもらいたい
建設業	建築工事業	宮崎	行政当局とすれば、現在の55万社以上という多すぎる建設業者数を大きく減らしたいとの意向を感じますが、現実的に同業同士の合併は非常に難しい側面をもってあります。むしろ、土木会社と建設会社、或いは建設会社と電気設備会社といったお互い保管し合う「業界内の異業種」とのM&Aの推進こそが、「数減らし」には有効であり現実的ではないでしょうか
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	大きな産業もない地方の町村にとっては、公共工事に頼らざるを得ないこともあり、公共工事の減少が景気低迷を悪化させているので、公共投資の削減に歯止めをかけて欲しい。
建設業	電気設備工事	宮崎	国や県覇税収の増大を測る以前にもっと景気等が上向くような施策を実行してもらいたい。今、企業は、社会保険料負担の増大や税率高負担で苦しんでいるのが実状です
建設業	建築設計監理	宮崎	官庁発注の設計業務は入札以外の方法に改めてもらいたい。入札による場合は、予定価格の50%以下にダンピングした入札者とは契約しないようにしてほしい。
建設業	建設業	延岡	公共工事の予算の確保、早期発注を願いたい。最近の不景気により建設業は特に倒産の件数が増加しており、今後も加速度的に増えていくものと思われる。不況業種のトップである。業種を転換するののも一つの方法である。教育(学習塾)、飲食業、その他。
建設業	建設業	日向	公共事業を増加させ、黒字企業を増やし税収の増大を行えば景気が良くなる。
建設業	電気工事業	高鍋	民間投資が減少し、受注が大変困難な時代になって来た。世の中大変な時代、景気対策は出来るのだろうか？

建設業	建築板金	小林	国民が安心して豊かな生活できる政治を。中小企業にも目を向けて頂きたい。県の行政も箱物は作らないと言うけど、中小企業の建設業者は大変になっているのでなんとかして欲しい。
卸売業	鶏卵卸業	都城	大手製造業は、増収、増益傾向ですが、地方は消費低迷が依然と強い様です。地方スーパー、百貨店、外食産業等で苦戦続いております。この様な時こそ、地方商工会議所が地域活性化の為に市民がお金を使うようなイベント及び企画をやるべきと思う。
卸売業	総合包装資材の卸売業	宮崎	イオンの工事が活発に進んでいますが、取り巻く環境が厳しい中、市中心部を含め好転化の起爆剤になれば幸いです。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	均衡ある政策を望みます。
卸売業	食品卸売	日向	自助努力あるのみです。只、市町村合併や民営化の推進などでこの国の運営費は劇的に下げてもらいたい。
卸売業	建築資材販売	日向	望んでもダメではないでしょうか、私達の意見が通る様であれば申し上げることは山ほどありますが……？
卸売業	建築資材卸	日南	地方においては公共工事への依存度が非常に高いものがあります。予算削減の対象を公共工事に集中させず、官公庁の人件費等の削減などにも努めそれからの対象としてほしいと考えます。
卸売業	青果物卸	小林	1. 安価な農産物の輸入を止め国内農業を守れ1. 大型農販店の出店規制を！そうでないと小売店は全滅し、地域経済は成り立たなくなる。もう少し弱者を守る制度を早急に考えてもらいたい。
小売業	米穀・酒類販売	宮崎	中央は大手の業績向上ばかりをみて好景気になりつつあると対外的に発表しているが、市井経済特に地方の需要を喚起するような施策は全く言っていないほどなされていない。地方が潤う為にはやはり人と物と兼ねの流通が活発に行なわれないとここ当分は苦しい状況は続きそうです。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	どのような景況であろうと、努力をしたものがきちんとその対価を表かされ、受け取れる時代であって欲しい
小売業	ブティック	延岡	国政選挙も終わり、時代(世相)の変化が進んだ。県も市も無言の一票の重さをしっかり受け止め経済政策(商業)に力を入れていただきたい。
小売業	糸卸小売	延岡	人口増加の方法
小売業	ガソリンスタンド	日南	まずは雇用対策に県はもっと力を入れてほしいです。県の雇用率は全国の平均以下である。特に若年層の失業率が高い店は問題である。雇用拡大のためには産業振興しかないと思います。地域活性化のためお願いします。
サービス業	コンサルタント	都城	事業発注量の増大。
サービス業	総合ビルメンテナンス	都城	若干の景気の回復は見られるが、新築物件が数少ないので既存物件の競合入札となり、コストが下がる売上は伸びても原価が下げられるため、収益率は悪い。地元保護のために、規制も必要ではない。
サービス業	貨物運送業	都城	・志布志道路の一日も早い完成・新規採用の際、補助金助成・環境対策設備への補助金助成
サービス業	運送業	都城	高速道路の料金の見通し、夜間割引長距離料金の削減をお願いしたい、原油の高騰化する国策をお願いしたい。